

KH系クレーンのヒューズ点検のお願い



日立建機製KHシリーズ・クローラクレーンで、ブームを後方にあおる（倒壊）事故が発生しました。

ブーム過巻防止装置（第1及び第2）のヒューズが切れていたために過巻防止装置が働かずブームを後方にあおってしまったものです。

対象機種

■KH70	■KH75	■KH100
■KH100-2	■KH100D	■KH125
■KH125-2	■KH125-3	■KH125D
■KH150	■KH150-2	■KH150-3
■KH180	■KH180-2	■KH180-3
■KH230-3	■KH250HD	■KH300
■KH300-2	■KH300-3	■KH500
■KH700	■KH700-2	■KH1000
■KH1000L		

注記: 1. 機種及び号機により、ブーム第2過巻防止装置が装備されていない機械もあります。

2. 機種は、アースドリル機も対象になります。（HE6010B、KH180-3、KH125-3のアースドリル機など）

ご不明な点は、最寄りのサービス工場・サービスセンタまでお問合せください。



「安全装置」といえども故障することがあります。

日常点検や、作業開始前点検を実施して安全装置が故障していないかどうか、確実に作動するかどうかを確認してください。

1. 作動確認をしましょう。

作業開始前にフック過巻防止装置、クレーン(タワー)ブーム及びタワージブ過巻防止装置(第1及び第2)、過負荷防止装置(モーメントリミッタ)の作動を確認してください。

異常があった時は、作業を中止して適切な処置を実施してください。

注記:機種及び号機により、クレーン(タワー)ブーム第2過巻防止装置、タワージブ第2過巻防止装置が装備されていない機械もあります。

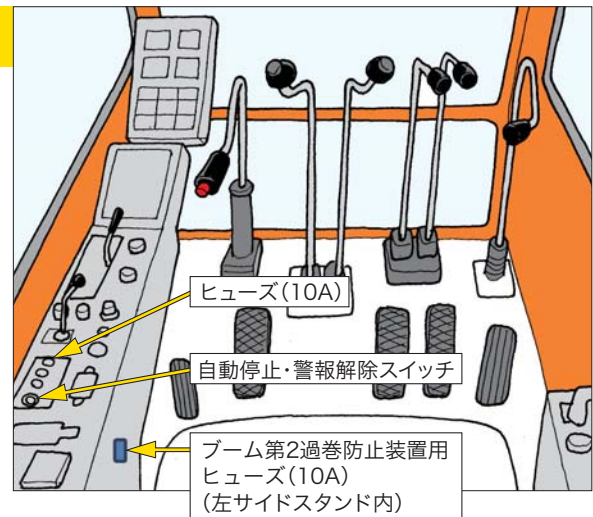


2. ヒューズは切れていませんか？

運転席・計器盤の自動停止・警報解除スイッチ用ヒューズ(10A)を外して切れていないかどうか確かめてください。切れていたらヒューズを交換してください。

ブーム第2過巻防止装置のヒューズは左サイドスタンド内にあります。作業確認により万が一、各操作の自動停止が作動しない場合はヒューズが断線している可能性が有る為、最寄りの弊社サービス工場へ連絡をお願いします。

なおヒューズが万一切れていても安全側に自動停止する構造に改造することができます。最寄りの弊社サービス工場までお問い合わせください。



3. 安全作業の基本を守ってください。(法令遵守)

- 運転中は運転席から離れない。離れる時は操作レバーを中立にしてエンジンを停止しましょう。
- 安全装置(過巻防止装置、過負荷防止装置)を解除してのクレーン作業は絶対に行わないでください。
- 過荷重(オーバロード)での作業は絶対行わないでください。

ご不明な点がありましたら、最寄りの“サービス工場”または“サービスセンタ”にご相談ください。

●ご用命は右記サービス工場へ

 日立住友重機械建機クレーン株式会社